

平井まち子 市会報告

【発行】
自民党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
神戸市役所1号館28階

<http://www.55machiko.jp> 平井まち子 検索

2015年も、地域課題の解決に まっすぐ取り組みます!



■平成26年 11月定例会

●2014年11月26日～12月5日

平成26年度11月議会が、11月26日から12月5日までの10日間の日程で開かれました。12月5日の本会議では、自由民主党神戸市会議員団から安井俊彦議員(東灘区選出)、むらの誠一議員(須磨区選出)及び、平井真千子議員(長田区選出)が市長及び副市長に一般質問を行いました。



神戸市会ホームページ

<http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/>
市会情報、議事録の閲覧ができます。



平井まち子の一般質問(要旨)

市営住宅の住民自治の維持

問 公営住宅の住民の高齢化により、住民が自治会を頼りにしているにも関わらず運営を維持できないという不安の声があがっている。高齢化は市営住宅だけではないが、市営住宅はその特性上、高齢者や障害者が多く、住民自治が特に維持しにくい。自治会を組織できない、世話をする人がいない住宅では連合自治会や防災コミュニティなどの地域団体に加入できず、地域や防災の情報が入らない例もある。多世代の同居を誘導してもなお入居者の高齢化の傾向は進行するであろう今、個別の事情を把握しながらコミュニティ形成の支援をすべきと考えるがどうか。

問 市住の状況について把握しているのは住宅都市局だが、コミュニティに関する取り組みができていない。例えば住宅の建替え時には、自治組織の立ち上げをお手伝いすることも必要だ。

答 市営住宅に関わらず全市民的課題が生じているが、市営住宅の場合は高齢化率が4割を超えている。昨年、地域組織にアンケートを実施し、今後の地域コミュニティのあり方について検討を進めているところだ。集合住宅と周辺住民との交流についても、必要性を啓発していく必要がある。

問 また、住宅の集会所は管理委員会を組織し運営をすることになっっているが、自治会と同様に担い手がなく、閉鎖されたままの所もある。集会所は周辺の住民も利用する地域全体のコミュニティの場なので、それが原因で市営住宅の入居者と周辺の方の間に軋轢が生じる例も聞いている。集会所の管理のあり方についても、考え方を伺いたい。

答 市営住宅に限らず全市民的課題が生じているが、市営住宅の場合は高齢化率が4割を超えている。昨年、地域組織にアンケートを実施し、今後の地域コミュニティのあり方について検討を進めているところだ。集合住宅と周辺住民との交流についても、必要性を啓発していく必要がある。

答 集会所は入居者の意思が全く反映されずに使用されると、トラブルも考えられるので、入居者が管理運営に関与するのが基本。ただ周辺の方々が使う場合もあるので、必要に応じて周辺の自治団体等に集会所の管理運営への参加も認めている。管理運営がうまくいかず集会所を閉鎖している住宅では、周辺の地域の方と協働で行うよう助言はしていきたい。今後さらに管理運営が困難な状況になることも予想されるので、入居者の意向を確認しつつ、適切な対応に努力していきたい。